

にほんご やさしい日本語のポイント

① 漢語(音読みする語)はなるべく使わない

(例) 開始かいしします→始めはじめます
宿泊しゅくはくします→泊とまります



② 1文をみじかくして、主語をはっきりさせる

(例) 先週せんしゅう出した宿題しゅくだいをやった人ひとは手てをあげてください
→ 私わたしは先週せんしゅう、宿題しゅくだいを出だしました。あなたあなたは、その宿題しゅくだいをしましたか。
手てをあげてください。

③ 二重否定や擬態語・擬音語(ぴかぴか、がたがた)は使わない

(例) えんぴつえんぴつしか使つかえませんか→えんぴつえんぴつだけ使つかえます
子どもでもできなくはないです→子どもでもできます
今日きょうはざあざあ降ふりです→今日きょうは雨あめがたくさん降ふっています



にほんご やさしい日本語にしてみよう!

① 更衣室こういしつ ② 土足厳禁どそくげんきん ③ 飲食禁止いんしょくきんし ④ マスク着用ちやくよう ⑤ 当日とうじつ

※やさしい日本語の答えは一つではありません。相手の日本語レベルや漢字かんじを使う国くにから来た人ひとかどうかなどでちがってきます。